

かわねほんちょう 議会だより

第45号

平成29年2月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会広報委員会



～ あ～！美味しい！あったかおそば～



1月8日 四季の里恒例の大根そば無料サービス

サテライトオフィスの効果は …… 2～3

5人の議員が町政を問う！ …… 4～9

若者を呼び込む離島の挑戦 …… 10～11

～委員会視察報告・島根県～

シリーズ 明日を拓く人たち^{ひら}（四季の里） …… 14

人口減少に歯止めが！

サテライトオフィスの効果は

昨年より東藤川（小長井）元警察駐在所跡にインターネットを活用した新しいビジネス拠点となるサテライトオフィスが始まろうとしています。

会社はインドに本社を置き、日本支社は横浜にあるゾーホージャパン株式会社（社員56名）で、川根本町オフィスには中沢仁さん1名ですが4月の完全営業までには3名体制で徐々に人員を増やして営業をしたいと言っています。

（現在町内からの社員を募集しています。）

横浜の支社とはインターネットを使ったテレビ会議システムを使い連絡を行っています。まるで隣の机と話をしている様な雰囲気です。リアルタイムに話し合



会議の様子

いを行っています。

このようなサテライトオフィスが、公設民営の高速光ファイバーと高速無線システムをいつでも、どこでも、誰でも使えることで、都市部と町内地域間の

情報通信格差が解消されることにより人口減少に歯止めをかけることが夢の世界ではなく現実には近づくのではと思います。

山間の町が起こした奇跡 徳島県神山町の事例



緑豊かな山々を背に、小川に足を浸しながら、膝の上に置いたノートパソコンでメールを打つ若者。こんな光景をニュースなどでご覧になったことがあるのではないのでしょうか。

これは徳島県神山町にサテライトオフィスを構える企業の仕事の一コマです。現在、人口約6300人の神山町へ東京の企業がサテライトオフィスを構える動きが加速しています。企業だけではありません。この山間の地に人々が次々と集まりつつあるのです。

▼神山町にサテライトオフィスを開設した企業

井上広告事務所／キネトスコープ社／Sansan株式会社／株式会社ソノリテ／株式会社ダクソフト／株式会社テレコメディア／ドローイングアンドマニュアル株式会社／株式会社プラットイーズ／ブリッジデザイン／株式会社えんがわ／有限会社リビングワールド／特許業務法人JAZY国際特許事務所

12社が開設

高速通信光ファイバー網

今後の利活用と将来像を考えよう

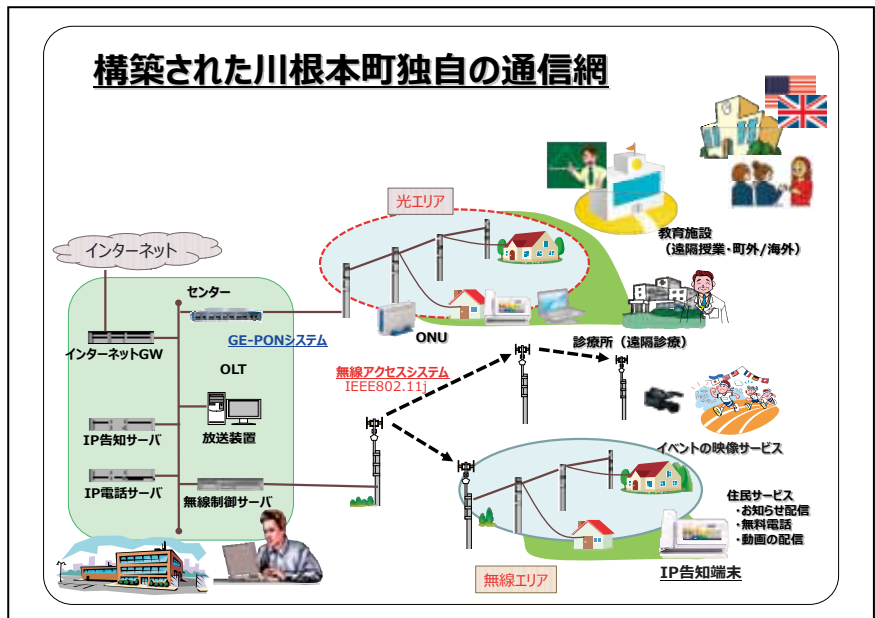
平成26年度に整備された川根本町独自の高速通信光ファイバー網は、県内はもちろん全国でも優秀な設備で世界を仲間として十分に情報インフラをそろえる事が出来る様になりました。元建設省長島ダム工事事務所跡地に会社を構える「東海ブロードバンド(株)」では現在、7名の社員が勤務しており、日夜保守点検等を行っております。やませみネットの現在の加入者数は487世帯です。



東海ブロードバンド(株) 社内



も伸びてくると思います。



「サテライトオフィス」とは「企業の本拠から離れた所に設置された事務所」のこと。サテライト（衛星）のように存在するオフィス（事務所）の意味。大きな区分としてはテレワークに含まれます。

「サテライトオフィス」を地方に設置するメリット

- ・時間の効率化（通勤時間短縮）
- ・経費の削減（事務所賃借料等）
- ・経営機能のバックアップ
- ・社員が元気に（ストレス軽減）
- ・人材採用の選択肢の増
- ・企業のイメージアップ

ICTとは、Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、日本ではすでに一般的となったITの概念をさらに一歩進め、IT＝情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉です。ICTは、ITとほぼ同義語ですが、情報通信技術のコミュニケーション性を強調していて、ネットワーク通信による情報・知識の共有を念頭に置いた表現となっています。日本ではITという言葉が普及しましたが、国際的にはICTという呼称のほうが一般的です。

一般質問

質問の概要を発言順に掲載します

5人の議員が町政を問う！

12月定例会最終日に一般質問を行いました

- | | |
|------|--------------------------------|
| 5ページ | 藺田 靖邦 議員
学校教育におけるICT活用を |
| 6ページ | 芹澤 廣行 議員
夢の吊橋の利用拡大対策は |
| 7ページ | 中澤 莊也 議員
指定管理者に厳しい目を向けよ |
| 8ページ | 野口 直次 議員
今後小中学校6校は維持出来るのか |
| 9ページ | 鈴木 多津枝 議員
住みやすい町づくりで人口減少対策を |

一般質問とは

一般質問は、議員が町長などに町の課題や行政全般について質問や提案できる機会です。年4回開かれる定例会でのみ行える大変貴重な機会といえます。質問する議員も、答える行政機関も十分な時間が必要なため、事前通告を行う決まりとなっております。

質問時間は、1人につき答弁の時間を含めず30分です。再質問からは一問一答方式となり、制限時間内であれば、質問回数には自由です。皆さんのご意見、ご関心が質問や答弁の力となります。傍聴は自由ですので、ぜひ足をお運びください。そして、ご意見をお寄せください。支所ではテレビで見ることが出来ます。

あの一般質問 一体どうなってるだやあ〜

Q. 桑野山貯木場の土場、事務所棟他の有効活用並びに、町営の製材所を設置する考えはないか

(平成27年12月定例会 質問者：根岸英一議員)

- A. 林業振興の拠点として取り組んでいきたい。事務所棟、木工加工場、車庫等十分に使用可能な状態であり、地方活性化につながる拠点として利活用を図ることは重要である。製材については、大規模な製材をやるのではなく、山から出てきた材を、必要としている人に、町内で加工し供給したらどうかというところから出発したい。

現状 土場は「森林組合おおいがわ」に、事務所棟2階は「エコティかわね」に、木工加工場2棟については民間の2業者に貸し出している。製材については12月議会にて簡易製材機1台購入を決定、28年度内に設置を予定している。



利用が進む桑野山貯木場



簡易製材機

問

学校教育におけるICT利活用を

答

モデル町となるような展開をしたい

質問

恵まれた通信環境と豊かな地域資源から考える地域振興について4つの小学校区を単位とするエリアでそれぞれテーマを持った地域デザイン戦略構想が必要であると考え、まずは地名や久野脇など南部地域の振興について伺う。

散策イラストマップ作成、地域連携型体験プログラム、一般客対象のモデルツアーを何回も開催する。地域主導でのイベントなどの開催も期待する。

地元の方と更なる協議し推進していきたい。

質問

(仮称)高郷バス開通によって変わる役場庁舎周辺地域の振興について伺う。

空き店舗や空き家を活用した地域活性化等が考えられるが個人財産となる建物は所有者、地区の意向、地域の意識が醸成されなければ事業の推進は難しいと考える。

川根高校を中心とした学校教育におけるICTを利活用した町づくりについて伺う。

町長

教育ビジョンの取り組みをベースにしながらツールとしてICTの導入をはかり、川根本町ならではの教育を進める。先進地の事例を積極的に学び本町のICT教育が静岡県のモデルとなるような事業展開をする。公設塾の取り組みは、来年度以降も継続し対象を高校生から中学生まで広げ、更に充実させる。

英語教育の必修化、プログラミング的、プログラミ

小学生からの英語教育や小学生からの英語教育に関する特色ある取り組みの可能性について伺う。

教育長

子供達の今後の資質、能力というものをどう考えるか、これは問題志向型、いわゆる課題解決型の子供達を育てる。臆せず外国人と会話ができる子供達を養おうと言うこと、そういう馴染みのところから入っていけば良いと思う。

質問

DMOマーケティングに基いた観光戦略や推進地域住民との連携強化を図るこの組織の状況と立ち上げについて伺う。

来年度組織の設立を目指し、寸又峡を中心とした奥座敷の振興について伺う。

他の地域に負けない、すばらしい資源が多数存在し、それを糧として生活する町民がいる。交流人口の増加も図りながら

町長

他の地域に負けない、すばらしい資源が多数存在し、それを糧として生活する町民がいる。交流人口の増加も図りながら

来年度組織の設立を目指し、寸又峡を中心とした奥座敷の振興について伺う。



おうる奥流でのプログラミング学習



議員 蘭田靖邦

一般質問



芹澤廣行 議員

問 夢の吊橋の利用拡大対策は

答 創意工夫をして対応して行く

質問 増大した夢の吊橋を
橋を指した観光客の受け入れ策は。

町長 夢の吊橋は近年パワースポットとして若い女性を中心に来訪者が増加している。観光客の安全な通行の確保が最優先と考

質問 具体的にはどのような対策をとっているか。

町長 紅葉シーズンに観光客が一か所

に集中することや、一方通行により、吊橋を

通った後の遊歩道の急勾配の階段が有るので、高齢者等への配慮のため、林道降り口付近に、飛龍橋、尾崎坂展望台への誘導を行なう為の

プロムナードコース案内を実施している。また将来、プロムナードコースから眼下に夢の吊橋やダム湖面への眺望の確保のための景観伐採や、お休み処の

充実など関係機関と協議していききたい。

質問 新設橋梁二本の設置の可能性は。

町長 前年度に可能性について現地調査を行ったが、寸又川左岸の地盤の脆弱性により今のところ可能性は薄いと考

町長 寸又川左岸の地盤の脆弱性を克服

服出来得る提案であれば検討する余地はある。

質問 かつて使用していた大間川左岸の再利用は。

町長 前年度現地調査を行った結果、安全について保証はできないとの指摘をいただ

町長 現在の夢の吊橋を補強して渡河人数を増やすことは可能か。

町長 現在の夢の吊橋を補強して渡河人数を増やすことは可能か。

町長 現在の夢の吊橋を補強して渡河人数を増やすことは可能か。

町長 現在の夢の吊橋を補強して渡河人数を増やすことは可能か。



現在のプロムナードの案内図



プロムナードコース上にある尾崎坂展望台に展示されている旧森林鉄道機関車

問

指定管理者に厳しい目を向けよ

答

指定管理期間の短縮も検討する

質問

指定管理者制度導入後、利用者数の減少が著しい「ウッドハウスおろくぼ」の今後の運営管理体制は。

町長

指定管理者制度導入のメリットが最大限活かせるよう、第三者委員会で管理運営状況を厳しくチェックしていく。なお、三年後の見直しを条件としているが、計画の進捗状況等によっては、前倒しの見直しも検討している。

質問

ウッドハウスを町直営に、利用目的の変更は考えられないか。

町長

他の町有施設等も含め、様々な

利用方法、有効活用を検討していきたい。体験施設やサテライトオフィス等として利用したい方がおれば、当然対応する必要があると思っている。

質問

観光振興における人材の確保と育成をいかにして図っていくか

町長

自然体験等のガイドを担う人材には、専門的知識やノウハウが必要であり、その育成については、町でも重要課題と認識している。人材の育成事業は、エコティかねと連携して取り組んでおり、平成26年度から毎年ツアーガイド養

成事業を行っている。多様化する行政課題・需要に対応した役場組織の構築は。

質問

次年度において、役場組織の変更、事務分掌の見直しを行う。

町長

空き家対策の推進は。

質問

町長、司法書士、自治会代表者等及び町関係課を構成員とした協議会を設置し、特定空き家の対策をはじめ、空き家の利活用も含めた検討を進めていく。

町長

水道事業の安定した運営は。

質問

水道事業の安定した運営は。

町長

本年度事業で、川根本町簡易水道事業公営会計移行検討業務を発注し、現在の簡易水道事業との比較検討をする為の資料作成を行っている。今後開催される水道運営委員会等で審議を経て、どのように水道運営を進めていくかを決めていきたいと思っている。



体験施設、サテライトオフィス等の利用も考えられるウッドハウスおろくぼ



中澤莊也 議員



大札山紅葉ハイキング
～ガイドの持つスキルや人柄が体験ツアーには欠かせない～

一般質問



野口直次 議員

問 今後小中学校6校は維持出来るのか

答 計画の5年間はR G授業を实践する



本町ならではの教育とは

質問 総合計画を含めた教育の今後の取り組みについて、2年を経過する学校教育ビジョンの推進状況と評価は。

町長 学校教育ビジョン2年目、キャリア教育、R G授業は最適規模の学習形態で、効果的な授業を展開し成果を感じている。

質問 5年間は今の学力向上ネットワークを検証しながらすすめていく。

教育長 地域住民が説明を求めているならば、集会所等に向き説明も必要かと思う。

質問 児童生徒減少の中学校2を維持出来るのか。

町長 更に児童生徒減少が予想されるが教育大綱に基づき計画の5年間は学校教育ビジョンを展開し進める。

教育長 地域住民が説明を求めているならば、集会所等に向き説明も必要かと思う。

質問 児童生徒減少の中学校2を維持出来るのか。

町長 更に児童生徒減少が予想されるが教育大綱に基づき計画の5年間は学校教育ビジョンを展開し進める。

質問 第I次後期基本計画では将来を

町長 現在、複式学級の小学校が存在するが、その点はどう

質問 複式であるか単式であるかは問題では無い。教員に

教育長 複式であるか単式であるかは問題では無い。教員に

質問 私が就任する前にあった小中学校あり方検討協議会において協議されているが、その後はR G授業を進める上で検討しておりますか。

町長 現在、複式学級の小学校が存在するが、その点はどう

質問 複式であるか単式であるかは問題では無い。教員に

町長 下長尾にある教職員住宅建て替えの検討は。

質問 来年度中には何らかの方向性を打ち出したい。

町長 下長尾にある教職員住宅建て替えの検討は。

質問 来年度中には何らかの方向性を打ち出したい。

町長 来年度中には何らかの方向性を打ち出したい。

質問 来年度中には何らかの方向性を打ち出したい。

町長 来年度中には何らかの方向性を打ち出したい。

質問 来年度中には何らかの方向性を打ち出したい。

質問 青部バイパス開通を迎え行政や自治会等の組織をスリム化、再編する考えは。

町長 住民サービスが低下しないように配慮し簡素で効率的な組織で行政課題、需要に即応する事が求められている。今回の役場組織再編にはその考えで行う。自治会側の意向を重視すべきで、行政側からの再編は進めるべきではないかと考

質問 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

町長 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

町長 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

町長 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

町長 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

町長 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

町長 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

町長 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

町長 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

町長 周辺整備を含め目的は正確に定まっているのか。

問

住みやすい町づくりで人口減少対策を

答

おうる 情報基盤と奥流で学びと生活環境の充実を図る

質問 総合計画に掲げた「誰もが安心して暮らせるふるさと」の実現に向けて今後の取り組みを問う。

町長 整備の効果は思ったより大きく、町の信頼を勝ち得た。積極的に利活用を進め、国・県の事業も活用して企業誘致、観光・農業振興など、新たな雇用の創出を図る。

教育総務課長 川根留学生を地域に結ぶ「山親」制度も検討したい。

質問 子育て支援策の拡充を第一に、人口減少をくいとめるには、どこよりも住みやすい町、子育てしやすい町にすることが重要。

昨年策定した「町・人・仕事」にも「笑顔で学び働き、幸せを感じながら暮らせるまち」の実現を宣言した。

もつと積極的にお母さん達の願いを取り入れて「良い町だ」と発信されるよう取り組むべきではないか。

町長 委員会の意見を尊重する。出産祝い金の増額予定はない。学校給食費の減額・無料化は当面の間行わない。奨学金貸与は将来町に戻って就職する場合は返済免除を検討している。高校生への通学補助・中学卒業祝い金を創設する考えは持っていない。保

育料は国の第2子半額、第3子無料の軽減策に合わせている。360万円の所得制限を無くすかは検討したい。

質問 臨時職員の待遇改善を。

総務課長 嘱託職員の導入も含め改善を検討したい。業務委託先で官製ワーキングプアが起これないよう公契約条例の制定などの対応を考えていく。

質問 補助金の限度額を廃止し活動の活性化を。

町長 補助金の限度額を定めていることはやむを得ない部分もあるが、シルバー人材センターについては

27年度から実施目標に基づく補助金交付方式に改め、業務の充実に努めている。

質問 電力の地産地消で雇用・収入確保を。

町長 森林資源活用調査の結果を踏まえ、今後、当町で木質バイオマスエネルギーを発電に利用可能か検討したい。

産課長 営農型発電なら一時転用で可能ではない。

茶畑に太陽光発電をつける場合、柱部分の農地転用許可がなかなか出ないと聞

くが、町の農業委員会の判断で決まることだからもつと早くできないか。

保を。

え、今後、当町で木質バイオマスエネルギーを発電に利用可能か検討したい。

産課長 営農型発電なら一時転用で可能ではない。

保を。



鈴木多津枝 議員



写してー！と集まる無邪気な子どもたち（三ツ星保育園）

離島の挑戦！

平成28年11月15日～17日 第1 常任委員会視察報告

住民ディレクターによる

町の魅力発信と雇用の増進

第1常任委員会では、高度情報通信基盤整備事業を受け、町が抱える様々な課題（少子高齢化対策、魅力ある教育の実現、地域経済の活性化等）に対応するために、ICT（情報通信技術）の活用は必要不可欠なものとして、今回は、離島というハンデを抱えながら、島の生き残りをかけた挑戦を続け、ICTを活用した地域資源のブランド化による「モノづくり」・魅力的な学習環境による「人づくり」を先進的に取り組んでいる島根県海士町と独自の定住対策事業によって若者の雇用創出事業を推進してまちづくりを展開している同県隠岐の島町の先進事例を調査するため視察研修を行いました。

島の食文化の商品化

「島じゃ常識！」

「さざえカレー」

島の漁師は、日常的にカレーに肉でなくサザエを入れて食べていました。

→ 驚き

よそ者、若者の目

それまで商品価値のあることすら気づかなかったものが、外の目から見れば新鮮な魅力として映るのです。

「平成28年度売上目標 3千万円」

地域資源のブランド化



離島再生のサイクル

ICT 利活用による魅力発信

住民ディレクターの活躍

海士町は早くから情報基盤整備が進み、ICTの利活用が盛んです。住民ディレクター育成では、地域資源及び特産品の情報を映像化し、首都圏の飲食店などに22台のディスプレイを設置して、特産の岩ガキや和牛の生産・育成状況や町の風景などを中継・映像配信し、顔の見える安心安全商品の提供、購買意欲の向上を図り、集客・販売増、移住・定住増に繋がっています。

廃校才前から優秀な進学校へ

島前とうぜん高校の「島留学生」の全国募集や町費による寮建設、魅力化プロジェクトも驚きです。中・高生の学力向上を目指す公設公営・無料の「隠岐の國学習センター」、「夢ゼミ」では、ICTの利用で国内外の専門家と交流、地域課題への取り組みなど優みなどで優秀な人材を育て、町へ戻って来られるよう、移住定住策や雇用確保に力を入れています。



廃校を救った島前高校「島留学生」寮



若者呼び込む

< ICT利活用で町の魅力発信 >

あま
海士町
人口減少対策

〈町の支援〉

- 少子高齢化「海士町子育て支援条例」制定
- ・ 結婚祝い金 (1組5万円)

- ・ 出産祝い金 (1人目10万円、2人目20万円、3人目50万円、4人目100万円)

〈産業振興策の効果：いま島に若者が〉

■ 島での就職や起業、



島への交流の拠点となるキンニャモニャセンター前にて

隠岐の島町
人口
約14,000人

海士町
人口
約2,300人

人口減少
ストップの
取り組み

隠岐の島町の 取り組み

隠岐の島町の定住対策

- ・ 成人式定住ブース

を設け、新成人に向けて、地元への定住をPR
・ U・Iターン情報

ハローワークと共同
で、隠岐のU・Iター
ン施策や求人情報を掲
載した誌面を作成し、

お盆や年末等の帰省者
をターゲットに、全戸
配布。

知恵と工夫で定住を
促進しています。

出航までの
待ち時間、隠
岐の島町観光
協会の「島ぶ
らり散歩」を。
3年前に島に
戻った青年の
ガイドで、地
域の商店など
の暖かいおも
てなしやふれ
あいを組み込
まれた心に残
る体験でした。



ピックアップ
心に残るおもてなし

焼きたてさざえ最中と温かい緑茶サービス

研修を終えて

第1常任委員長 蘭田 靖邦

今回の研修は、現地の雰囲気や意気込み情
熱が伝わりました。私たちも自分の町の豊か
な資源や人となりを紹介できるよう、もつと
町を知り、交流を深めて、当町が取り組む過
疎対策、人材育成事業などをPRしていかな
ければなりません。町の将来を担う若者、子
ども達に期待する思いを、より一層推進して
いかなければならないと強く感じた研修でし
た。

役場組織再編

12月
定例会

本会議で審議、決定した 主なこと

- ① 川根本町課設置条例の一部改正
- ② 保育所条例の一部改正
- ③ 補正予算

今後増々増えてくる行政課題や行政需要に迅速かつ柔軟に対応し、今まで以上に住民サービスを高めるとともに、事務の効率化を図るため、来年度に役場組織の再編、事務分掌の見直しを行うために必要な条例の改正

休園中の地名保育園の利活用について、川根本町保育所運営委員会の答申や子育て会議の意見をもとに、新たに子ども子育て支援施設として使用するために必要な条例の改正

多
様
化
す
る
行
政
需
要
に
柔
軟
に
対
応
！



12月定例会の あらまし

12月定例会が12月1日から16日までの16日間の会期で開催されました。

第1日目に、条例2件、議員発議1件を可決。2日目には、保育所条例の一部改正ほか条例改正5件、指定管理者の指定2件、規約の変更1件、平成28年度補正予算5件が可決されました。

保育所条例の一部改正については2名の議員が反対し、賛成多数での可決でした。他の議案は、全て全員賛成で可決されました。

最終日には、5名の議員が一般質問に立ち、地域振興、観光振興、学校教育ビジョン、子育て支援等について、町当局の考えをたきました。一般質問終了後、議員発議「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」を採択し、16日間にわたる12月定例会を終了しました。なお、今期定例会の傍聴者は、10名でした。

地名保育園 廃園

子ども子育て拠点施設として整備



10年の止まっていた時間が今動き出す

子ども子育て支援施設として改修が計画されている休園中の地名保育園

今回の一般会計補正は、**1億2,218万円**の追加で
総額65億4,599万円となります。

主な内容

- | | |
|---|-----------|
| ① 元森林管理署桑 ^{かん} の実 ^み 宿舎及び敷地購入費 | 11,232 千円 |
| ② 臨時福祉給付金交付事務経費の追加 | 27,915 千円 |
| ③ 桑野山貯木場簡易製材機等購入費の追加 | 3,263 千円 |
| ④ 林道維持費・災害復旧費の増額 | 28,000 千円 |
| ⑤ 寸又峡遊歩道安全対策工事測量設計委託料 | 4,894 千円 |
| ⑥ 庁舎内通信ケーブル改修工事請負費等 | 17,441 千円 |
| ⑦ 子ども子育て支援施設（旧地名保育園）改修設計委託料 | 2,949 千円 |

川根本町の明日を拓く人たち

表紙にも掲載した無料そばサービスは、なんと今年で27年目！
今回は、当たり前のようにそばにある、でも決して当たり前ではないお店「四季の里」の紹介です。

いつまでも『町おこし』の気持ちで・・・

中川根特産品販売所 「四季の里」 代表 嶋 育子

四季の里は開業から30年以上がたちました。起業した全員が退職され、当時パートとして働いていた数人を中心に、新たに従業員を募集して現在運営しています。

世間では以前のように「町おこし」「農家の主婦の店」というフレーズの店も珍しくなくなりましたが、開業当時と同じようによもぎパン等の蒸しパン類や、手打ちそば、こんにゃく、ジャンボいなりなどの自社製品はいまだに健在で、四季の里の有力商品です。

毎年1月に行っています「無料そばサービス」も定着し、皆様大変喜ばれています。

年末には本町や当店の名産物の詰め合わせを、地元の人から町外の方へお歳暮として贈ってみて



心暖まるおいしい手打ちそば（大根そば）

は？という「ふるさと小包」もあります。

町外でのイベントも出店できる時は参加するようにし、川根本町と四季の里を町外の多くの方に知ってもらいたいと、地味ですがこれからも続けていきたいと考えています。



編集後記

読まれる議会だより

「去年今年 貫く棒の如しもの」虚子。新年を迎えました。議会広報委員会が発足して1

年が過ぎました。年4回の議会だより発行を経て、「貫く棒」とは

正に町民に読まれる議会だより作りのテーマ

でした。11月に委員全員で参加した広報研修会で、「議会だよりの

役割は町民に開かれた議会にすること」と叩き込まれ「目からうろこ」。そうなるための議論を重ねた45号です。ご意見お寄せください。（鈴木）

《議会広報委員会》

- 委員長 中澤 莊也
- 副委員長 鈴木多津枝
- 委員 中田 隆幸
- 根岸 英一
- 坂本 政司

◆ 3月定例会の日程 ◆

3月2日	木	9:00~	本会議（定例会・初日）
		本会議終了後	全員協議会
15日	水	9:00~	本会議（定例会・2日目）
		本会議終了後	議会運営委員会・全員協議会
23日	木	9:00~	本会議（定例会・最終日）

○会議会場は役場本庁3階です。
○日程は変更することもありますので、詳しくは議会事務局（56-2229）までお問い合わせください。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお出かけください。